

2019 年度 授業および授業素材としての映像録画支援

1. 概要

e-Learning センターでは、e-Learning コンテンツ作成支援の一環として、授業や講演会等の映像録画支援を実施しております。

講義を撮影して PowerPoint と組み合わせてのコンテンツ化から、複雑な編集や撮影まで、様々な形態の支援を行いますので、詳細は e-Learning センターにご相談ください。

なお、本事業を 2019 年度当初から開始できるようにするため、2019 年度予算確定前に募集を始めるものです。予算配分の状況によっては、内容に変更があり得ることをあらかじめご承知おきください。

また、e-Learning コンテンツの活用拡大、再利用の促進という趣旨から、同一の(あるいは類似の)授業科目や取り組みへの支援は、支援種目 A については 4 年に 1 回(2018 年度以前を含む)、支援種目 B については同年度内 1 回とさせていただきます。

2. 支援内容

2-1. 映像録画支援

- ◇ 講義室等での授業・講演のライブ録画、スタジオでの録画、学外での実習・演習等の録画を支援します。
- ◇ 撮影作業は、原則として申請者が選出した学生等の補助者が行うこととし、その経費を支援します。補助者が、撮影用機材【別紙1参照】を利用する際には、e-Learning センターで基本的操作方法を紹介します。
- ◇ 高度な録画を要する場合は e-Learning センター指定の外部業者に依頼することも可能です。外部業者への委託調整は、e-Learning センターで行います。撮影に関する要望を事前に業者と打ち合わせることも可能です。ただし、複数カメラでの録画など複雑な撮影をする場合の追加料金は、申請者の教育研究経費等からの支出をお願いする場合があります。

2-2. コンテンツ作成支援

- ◇ 撮影した動画を教材として活用するために、投影画面との組み合わせ、複数カメラを用いた録画映像の分割画面での組み合わせ等の作業を支援します。
- ◇ コンテンツ作成作業は、原則申請者が選出した学生等の補助者が行うこととし、その経費を支援します。補助者が、コンテンツ作成用機材【別紙1参照】を利用する際には、e-Learning センターで基本的操作方法を紹介します。
- ◇ 専門的な作業を要する場合は e-Learning センター指定の外部業者に依頼することも可能です。外部業者に依頼する場合は、パワーポイント等投影画面との組み合わせ程度のコンテンツ作成経費は本支援費から支出しますが、複雑な編集をする場合の追加料金は、申請者の教育研究経費等からの支出をお願いする場合があります。

2-3. SUNS 講義室での自動録画

- 2018 年度「授業および授業素材としての映像録画支援」の一環として、自動録画システムを利用した動画コンテンツの作成を支援してまいりました。このたび、より多くの皆様にご活用いただくために、本支援は、申請回数の制限を設けず、別枠にて対応させていただくことになりましたので、【別紙2】をご参照ください。

3. 支援種目及び応募方法・応募期間

A：「2. 支援内容 (2-1, 2-2)」の全て。応募期間は 2019 年 2 月 22 日 (金) まで。

- ◇ 同一の(あるいは類似の)授業科目や取り組みへの支援は 4 年に 1 回(2018 年度以前を含む) までを原則とします。
- ◇ 応募フォームに次の事項を記入のうえ応募してください。
 - ・ 支援対象の内容に関して(撮影・作成方法, 撮影時期等)
 - ・ コンテンツの活用について(期待する学習効果等)
 - ・ 撮影・編集用貸出し機材について
- ◇ 2019 年度「授業および授業素材としての映像録画支援」応募フォーム: <https://goo.gl/r8SpTV>

B：「2. 支援内容 (2-1, 2-2)」のうち経費が 50,000 円まで。2020 年 2 月上旬まで (ただし、予算に達するまで) 随時受け付けます。

- ◇ 同一年度一回までを原則とします。
- ◇ 応募内容を下記メールアドレスにご連絡ください

e-Learning センター ICT 活用支援部門
メールアドレス: elcenter-rokuga@shinshu-u.ac.jp

4. 選定方法と選定基準

4-1. 選定方法

- ◇ 「支援種目A」については、e-Learning センター運営委員により選定を行います。

4-2. 選定基準

- ◇ eALPS 等で公開し教育に活用するコンテンツ作成の一環としての映像録画及びコンテンツ作成であること。
- ◇ より多くの学生および教職員の利用が見込める内容のもの。(優先順位は学生)
- ◇ 先進的な取り組みのもの。
- ◇ 映像録画支援への配分を優先し、予算の範囲内でコンテンツ作成支援へも配分する。
- ◇ 直近3年間、同一の(あるいは類似の)授業科目や取り組みが選定されていないこと。

5. 問い合わせ先

e-Learning センター ICT 活用支援部門

メールアドレス: elcenter-rokuga@shinshu-u.ac.jp

6. その他

- ① 非常勤講師等の取り組みの場合は、専任教職員が責任者となって申請してください。
- ② 後期に映像録画・コンテンツ作成する内容についても、今回の募集に応募してください。
- ③ 今回の応募・選定状況によっては、第2次募集をする場合もあります。
- ④ 応募件数が多い場合はより多くの応募に配分を行うため全額を負担できない場合があります。
- ⑤ 応募者への経費配分は行わず、e-Learning センターから外部業者や補助者へ直接支払います。
- ⑥ 著作権や肖像権に関しては、申請者で責任をもって許諾等の手続きをお願いします。e-Learning センターでは確認を行いません。
- ⑦ 撮影および動画コンテンツの利用について学外関係者への許諾等の手続きは申請者で責任をもってお願いします。e-Learning センターでは責任を負いません。
- ⑧ 手続きの都合上、録画時期は2020年2月14日(金)までとします。
- ⑨ これまでに選定されていて今回支援の対象外で、同様の映像録画やコンテンツ作成を希望する場合は、業者の紹介や、【別紙1】の撮影用・コンテンツ作成用機材の貸出は可能です。e-Learning センターにお問い合わせください。

これまで支援した事例の一部

(1) 撮影した動画を編集したコンテンツ

- ◇ 芸術コミュニケーション基幹演習Ⅶ、地質科学、老年看護学実習Ⅱ、初等家庭科指導法基礎、血液形態検査学実習、血栓止血検査学実習、臨地実習、中等家庭科教育指導法基礎、未来の学校と期待される教師Ⅰ、高度人材育成インターンシップ、芸術ワークショップ基幹演習Ⅷ

(2) 撮影した動画を PowerPoint と組み合わせたコンテンツ

- ◇ 授業録画…心理学調査法演習、教育実習事前・事後指導、生活科指導法基礎、教育臨床入門、キャリアとしての公務員、総合工学研究科農学専攻地域共生マネジメントプログラム、大学院総合理工学研究科「研究者倫理特別講義」・「実験的工学手法」、教育学概論、教育臨床入門、教育臨床研究入門、国語基礎、科学技術政策特論
- ◇ 講演会録画…テニユアトラック普及・定着事業、日本地質学会学術大会・市民講演会、子どものこころ診療部セミナー
- ◇ スタジオにて…教育実習事前・事後指導、健康科学・理論と実践、学校カウンセリング概論、教育哲学演習Ⅱ、人間の生成と社会 A・B、現代教育学

*下線を付した事例は、「eALPS 教職員サイト」「映像録画支援」コースにてコンテンツの一部を紹介させていただいております。ACSU にログイン後、左側メニューの「eALPS 教職員用サイト」から、「映像録画支援」にアクセスしてください。はじめてアクセスする場合は、「コースの検索」で「映像録画支援」を検索していただき、コースに登録するとアクセス可能になります。

種類	品名	型番	ソフトウェア	持ち出し	備考	場所
デジタルHDビデオカメラレコーダー	SONY ハンディカム	HDR-CX675		可	ELセンター 2012予算	教育
デジタル一眼レフカメラ	Canon EOSKiss X2	DS126181		可	ELセンター 2008予算	教育
デジタルHDビデオカメラレコーダー	SONY ハンディカム	HDR-PJ630V		可	ELセンター 2012予算	松本
デジタルHDビデオカメラレコーダー	SONY ハンディカム	HDR-XR500		可		松本
デジタルHDビデオカメラレコーダー	SONY ハンディカム	HVR-A1J		可		松本
レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー	SONY ハンディカム	NEX-VG20		可		松本
レンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダー	Canon HD	XF-100		可		松本
ビデオ編集・コンテンツ作成用PC	Prime Magnate HX DOSPARA		<ul style="list-style-type: none"> ・Windows7 ・EDIUS6 ・PRESENTER STORM Maker ・Tech Smith Camtasia Studio 	不可	ELセンター2011予算	教育
ビデオ編集・コンテンツ作成用PC	Dell Optiplex 990		<ul style="list-style-type: none"> ・Windows7 ・Adobe Pro CS5.5 	不可		教育
ビデオ編集・コンテンツ作成用ノートPC	HP Pro Book470G2		<ul style="list-style-type: none"> ・Windows8 ・Adobe Pro CS6J ・Tech Smith Camtasia Studio ・PRESENTER STORM Maker 	可	ELセンター2014予算	教育
ビデオ編集・コンテンツ作成用ノートPC	iiyama W35xSTQ_370ST		<ul style="list-style-type: none"> ・Windows7 ・PRESENTER STORM Maker ・Adobe CS6 MC 	可		松本
三脚	SONY	VCT-870RM		可	4台	松本
三脚	SONY	VCT-RG11RMB		可	2台	松本
三脚	SONY	VCT-VPR1		可	2台	教育

自動録画システムを利用した動画コンテンツ作成支援の対応について

2018年度まで「授業および授業素材としての映像録画支援」の一環として、自動録画システムを利用した動画コンテンツの作成を支援してまいりました。

このたび、より多くの皆様にご活用いただくために、本支援は、申請回数の制限を設けず、別枠にて対応させていただくことになりましたので、ご案内をいたします。

支援内容

SUNS 講義室で行われる講義、研修会等を、SUNS 配信を利用し、e-Learning センターの映像収録システムで録画します。SUNS 配信を利用するため、SUNS 配信予約時間に基づいて、配信映像（講師カメラ映像やPC映像）を自動的に収録することができます。収録した映像は、eALPS のご指定の授業・コースで視聴することができます。なお、SUNS 講義室であれば、他キャンパス等に配信するものでなくても収録することができます。

支援の流れ

1. 収録予定の講義室や時間帯について [ACSU] → [SUNS] → [SUNS 予約] のページより、SUNS 配信予約を行う必要があります。予約の方法は、所属部局の SUNS システム担当者にお問い合わせください（ご不明の場合は、e-Learning センターに）。
2. 収録日の一週間前までに、e-Learning センターに SUNS 配信予約を済ませた旨をご連絡ください（ご連絡の後、e-Learning センターで、収録手続きのために、SUNS 予約内容を編集させていただきます）。
3. 収録時間になりましたら、収録講義室内のタッチパネルを用いカメラ向きの調整、スクリーン投影映像の選択、PC 映像の送信（RGB 送信）とマイクの導通確認を行ってください（これら操作の具合によって、収録映像の内容が左右されますので、ご注意ください）。
4. 収録が終わりましたら、収録映像の確認と編集（カット、トリミング等の簡単な編集）の有無のご確認のために、申請者へご連絡差し上げます。この際、eALPS によって動画をご確認いただきますので、eALPS のコース名・科目コードを、事前にお知らせください。

依頼方法

下記 URL（Google フォーム）より、お知らせください。

<https://goo.gl/forms/u6oTxj78JuhyQuSJ2>

問い合わせ先

e-Learning センター ICT 活用支援部門 自動録画担当 まで
メールアドレス : elcenter-rokuga@shinshu-u.ac.jp

注意事項

1. 平日 8:30 – 17:15 以外の時間帯による収録は、e-Learning センター職員が不在のため、収録状況をモニターすることができず、正常に収録できない場合があります。
2. SUNS 機器の不調やネットワーク障害等により、正常に収録できない場合があります。
3. SUNS 配信回線数の制限を超える場合は、正常に収録できない場合があります。
4. 正常に収録ができない場合などの予備の収録として、撮影用機材（ビデオカメラと三脚）を貸出することができます。ただし、貸出機材の台数に限りがありますので、必要な場合は事前にお知らせください。